



日田林工で生徒研究発表会を開催

県下工業系高校による1年間の成果発表会が、1月16日に日田林工高校で行われました。地域や社会課題を専門的な知識や技術を活用し、自発的かつ創造的に解決する力を育てます。県下8校の生徒が競い、鶴工からは3年建築科5名が発表を行いました。実習から出る廃材を積み木に加工し、地元保育園の木育に生かす取り組みです(12月号で紹介)。最優秀となった津久見高校は、高齢化が進む地域課題を工業×商業の連携で解決する素晴らしい取り組みでした。大切なのは、主体的に課題を設定し、五感を使って探求し、解決に導く創造性です。鶴工の活動もアップデートの必要性を感じました。



集大成! 課題研究発表会(3年生)

3年生がこの1年をかけ、各学科で研究を深めた成果発表を1月22日から4日間かけて行いました。建築科は製作や設計、電気科や機械科はモノづくり、化学工学科は実験を通じたモノづくり、産業デザイン科は課題解決に向けた提案です。全体的には、モノを製作するチームが多かったという印象です。願わくば、課題設定とそれを解決するための探求や仮説立案のプロセスが示され、何故そのモノづくりに至ったのかが発表に盛り込まれると更に良いと感じました。



土イチ de much-on! 番組出演

1月18日、OBSラジオの人気番組「土イチ de much on!」に後藤優太さん(3M1)、藤澤優真さん(3M2)、大西晴奈さん(3D)、瀬口禾々さん(2D)が出演しました。ラジオを聴かない世代にスポットをあて、若者の感性で盛り上げる番組です。鶴工の魅力や進路状況、企業の先輩社員へのインタビューなど、現役高校生らしい話題で盛り上がりました。ギャル大臣の素朴な疑問にも分かり易く答えて、地元中学生にも聴いて欲しい内容でした。残念ながら視聴するにはradiko契約が必要です泣。



最終日の産業デザイン科の発表は、特に興味深く聴きました。テーマは、地域課題にスポットを当てた研究が多く、続いて鶴工の課題への提案です。何れも課題の本質を的確に捉えていました。実際に現地へ足を運び、関係者へヒアリングを行い改善提案を実施した生徒もいました。最終的に可視化されるデザインだけでなく、課題やクライアントの要望などを自分なりに理解し、解決に導く提案は、まさにデザイン思考のアプローチです。制作したグッズやCGやアニメなどのクオリティも高いですが、何より課題を解決するために自主的に考え、行動し、提案する力は、これから複雑な社会を生き抜くために必要なスキルです。他学科にも大いに刺激を受けて欲しと感じた時間でした。